令和７年度北海道こどもの意見反映推進事業

フィードバック資料

将来のまちづくりについて

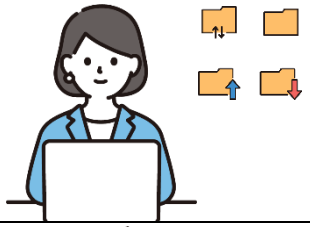
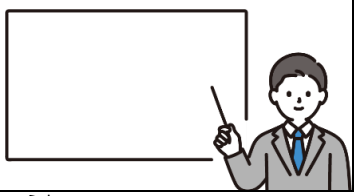
北海道建設部建設政策局建設政策課

（１）　意見募集の概要

	対面	インターネットなど
い　つ	令和７年９月18日～11月28日	令和７年９月30日～12月５日
どこで	北海道内の 10 か所の学校	オンラインなど
だれに	生徒会に所属している人や、 クラスの人など 204名 （意見：3,480件）	北海道に住んでいるすべての こども・若者（意見：260件）
方　法	学校を直接訪問して、ファシリテーターと対話しながら、思ったことを付箋に書き出してもらう方法で意見を聴きました。	匿名のＷＥＢアンケートや、訪問した学校以外でも同じ取組をしてもらい、意見を聴きました。
設問１	まちの中に、〇〇があったらいいと思うものは何ですか？	
設問２	まちの中に人を集めて、にぎわいをつくるには、 どのようなことをしたらいいですか？	

（２）意見の検討方法

沢山の意見をもらったので、次のような方法で検討を行いました。

順番	内容
①	学校訪問やWEBアンケートで、意見をもらう。
②	もらった意見を、担当する係の人が全部読む。
③	似ている意見をグループごとに分ける。 
④	分けたグループごとに、反映方法を検討する。
⑤	反映結果を資料にまとめて、ホームページで発表する。 

※グループごとに分けた意見の一覧は、こちらのHPで公開しています。

（URL：https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/r6iken.html）

（3）意見の反映先

今後、みなさんからいただいたご意見を「北の住まいるタウン」検討協議会、メイヤーズフォーラムなどを通じて、検討していきます。

「北の住まいるタウン」の目標の一部に、「みんなが安全で安心して、ずっと住みつづけられるまち」があります。現在、人口が減っていく中でも、どうやったら、「住み続けられるまち」をつくることができるか、という部分を、私たちは話し合っています。

みなさんが出してくれた、「まちの中に○○があったら･･･」という多くのアイデアを実現できるかどうか、検討協議会などを通じて、話し合っていきたいと考えています。

●北の住まいるタウン検討協議会

学識者や事業者、国の機関の方々と、北の住まいるタウンの推進方策を検討しています。

●まちづくりメイヤーズフォーラム

北海道内の市町村長や、第一線で活躍する実践者の方を招いて、まちづくりを考えています。

（4）意見のポイントと活用方法

設問１：まちの中に、〇〇があったらいいと思うものは何ですか？

【意見のポイント】

1.大型商業施設
１０階建ての大きなショッピングモールなど
2.大規模レジャー施設
テーマパーク/遊園地など
3.公共の遊び場・休憩スペース
公園/キッズパーク/キャンプ場など
4.屋内エンターテインメント
映画館/ボーリング場など
5.飲食チェーン店
ハンバーガー/回転寿司/ファミリーレストランなど
6．ホテル・温泉
ホテルの中の温泉/ウオータスライダーがあるプールなど
7．観光・文化施設
動物園/水族館/博物館
8・小売・サービス店
コンビニ/ペットショップ/100円ショップなど
9.趣味・キャラクターショップ
サンリオショップ/コスメショップ

【活用方法】

　このような施設がまちなかにあると楽しいですね。病院やスーパーのような、生活に必要な施設だけでは、人は集まりませんよね。人同士が、何か楽しいことを通じて、つながりあえる、エンターテインメント的な施設があると、まちの中ににぎわいと個性が出ると思います。

　このようなにぎわいを生み出す施設が、どのように役に立っていくのか、話し合っていきたいと思います。

設問２：まちのなかに人を集めて、にぎわいをつくるには、

どのようなことをしたらいいですか。

【意見のポイント】

1．祭り・イベントの開催
祭りを増やす/一等賞を獲得したら100億円もらえる大会
2．遊園地・テーマパークの建設
遊園地/テーマパークなど
3.有名人・ゲストの招待
有名人・ゲストの招待
4．SNSを活用した情報発信
YouTubeにまちの動画をたくさんあげる/Xに写真をあげる
5．大型商業施設の建設
ショッピングモールを沢山増やす/ホテルを作る
6．まちの名物の活用
メロン祭りをする/このまちの限定品グッズをつくる。
7．観光スポットの活用
海で遊べるアスレチック/世界自然遺産を増やす
8．住民参加型のイベントの開催
クイズ大会/みんなで参加する行事などをつくる
9・エンターテインメント施設の建設
大カラオケ屋/ライブ会場など
10.飲食チェーン店などの増加
ハンバーガー/回転寿司など

【活用方法】

にぎわいをつくるには、Ｑ１のようにエンターテインメント施設を作るという考えの他に、みなさんの意見にあるようなYouTubeによるまちの紹介、クイズ大会、祭り・イベントなど、施設ではなく「アイデア」を出して、人を呼び込むものもあります。

どうやってまちなかに、にぎわいを作るのか。もう少し先まで考えてみることも重要です。「クイズ大会」を例に取ると、小さなクイズ会場をまちなかにバラバラになるように作って、参加者が自然とまちなかを歩き、楽しんでもらえるよう、工夫をすることで知らず知らずに観光もしてもらえます。

これは一つの例ですが、みなさんが考えたアイデアに何か一つ意外な発想を加えることで、ほかとは違う面白い取組ができたりします。是非、みなさんも機会があれば、学校で友達と考えてみてください。私たちもみなさんの意見を参考に、まちづくりについて考えていきたいと思います。